

町政を問う

6月議会では3人の議員が登壇し、
町の考えをただした。

宮嶋健太郎 議員

Q 養老鉄道、混雑回避の方法は

A 車両の中づりや駅構内の掲示物を通じて、広く広報、啓発していく



車両の中づり広告の様子

4月30日に行つた第8回神戸わかもの会議で、高校生の参加者から養老鉄道の広神戸駅、朝7時28分発の大垣行きが非常に混んでおり、時間によっては乗れずに遅刻や、弁当箱が潰れるなどの事例も出ているとの報告があった。翌月に現地確認も行ったが、実際かなりの混雑状況であった。混雑回避の

ため、町が養老鉄道活性化協議会等で声を挙げるべきと考えるがどうか。

A 町長

平日における、養老鉄道広神戸駅午前7時28分発の電車については、養老鉄道が毎年行っている乗降調査の結果を見てきたが、一日の中で、特に通学する高校生、大学生を中心に乗車人数が多い列車となっている。

ダイヤの増便や車両の増加などが解決策として考えられるが、養老鉄道に確認したところ、単線での運行、ホームの長さ、経営状況等から考へても不可能であると聞いている。

そのため、養老鉄道が、日頃から利用者に対し、混雑時の乗車マナーについて、車両の中づりや駅構内の掲示物を通じて、広く広報、啓発していく

(1) **A 選挙管理委員会書記**
現在、岐阜県内で選挙公報を発行している自治体は市では16市、町村では5町で発行されている。

この他、町の情報発信の拡充、養老鉄道における踏切道の拡幅について質問した。

ために、町が養老鉄道活性化協議会等で声を挙げると考えている。

ことが有効な手段であると考えている。

(1) 投票率を向上させるためにも、町議会議員選挙において候補者の訴えを一覧にした選挙公報の発行をすべきと考へる。他町でも実施しており、スケジュール的には可能である。

(2) 期日前投票が役場2階で行われており、足の悪いご高齢の方に不便である。1階または中央公民館で行うことはできないか。

中央公民館に関しては、駐車場からの移動距離があり、利便性について現状と大きく変わらないと考へる。

今後、選挙管理委員会において協議・検討してまいりたい。

Q 学校体育館への空調設備導入の見通しは

A 令和6年度から順次整備していく

小川榮一 議員



神戸小学校 体育館

町長は、公約として学校体育館への空調導入をあげ、本年度の予算に「神戸小学校屋内運動場の設計委託料」を計上した。しかし、学校体育館への空調導入には、設置費用・ランニングコストなど多くの課題が予想される。学校体育館への空調導入に向けて、どのような見通しをもつて取り組まれるのか。

A 教育長

年々、夏の平均気温が上昇し、暑さが厳しくなっているため、活動でできる場所が制限されてしまう。そのため、児童生徒の快適な学習環境や、放課後児童クラブ利用者の活動場所を確保することが不可欠になってきていく。

また、指定避難所としての重要性にも鑑み、学校体育館施設の空調設備を令和6年度から順次整備していく予定である。今年度は、神戸小学校の防水工事と併せて体育

館空調設備導入の設計を委託し、来年度から工事を実施する予定である。

なお、各学校における空調設備の具体的な導入時期については、財政当局と十分に協議を重ねて実施していきたい。その際、各学校体育館は、災害時には避難所としての重要な役割を有していることもあり、各学校の児童生徒数、災害発生時ににおける想定避難者数及び現在の利用状況、並びに併せて行う改修工事の必要性等を総合的に勘案しながら、順次、空調設備を導入していきたいと考えている。

Q

ばらタクの拡充の考え方

A

町外にも利用できるよう考えている



昨年の町長選や今年の統一選挙を通じて、内外が注目している「ばらタク」の拡充を町民のみなさんが強く期待されていることが明らかになつた。

(1) 「ばらタク」について、今後の基本的な考え方。

(2) 拡充が実施されれば、「ばらタク」利用は増加すると思われる。コロナ禍の影響を受けてタクシー運転手の確保が厳しいと聞くが、どのような状況か。

A 町 長

(1) 所管である「民生支教常任委員会」において、拡充の考え方や制度

について、具体的に示させていただいたところである。

今回の拡充では、現在、町内に限定していられる利用範囲を、町外に利用できるよう考えている。

開始時期は、町民やタクシー乗務員などへの周知期間を勘案し、10月1日からと考えている。

(2) タクシー事業者に確認したところ、コロナ禍と比較して約2割の乗務員が減少しており、保有車両に見合った乗務員を確保できない状況であると聞いています。

Q 携帯電話購入への補助制度の創設について

現在、認知症患者は約462万人。高齢者の4人に1人は認知症、またその予備軍と言われている。

団塊世代が後期高齢者になる2025年には、患者数が700万人を超えると推計されている。認知症の危険因子として、「加齢」や「高血圧」のほか「難聴」も一因として挙げられている。

認知症の危険因子として、「加齢」や「高血圧」のほか「難聴」も一因として挙げられており、以前、この制度について質問したが、当時は全国でも数少ない2桁の自治体であったが、令和5年3月15日時点では、全国「130自治体」に広がっている。

鈴木愛子 議員

この事業を進めるべきと考えるがどうか。

A 町 長

難聴になると家族や友人との会話が減り、外出がおづくくなり、家庭の中でも、社会的にも孤立しやすく、引きこもりがちになる可能性があることも報告されている。国や県、他市町村の動向を注視しながら、引き続き研究課題とする。

議会の動き（6月～7月）

6月

- 5日（月） 第4回定例会開会
議会運営委員会
- 7日（水） 民生文教常任委員会
- 8日（木） 総務建設常任委員会
- 14日（水） 第4回定例会再開（一般質問）
- 15日（木） 第4回定例会再開（議案審議）
全員協議会
議会改革特別委員会
- 22日（木） 株大垣ケーブルテレビ調印式
「議会収録・放映に係る協定」

7月

- 13日（木） 全員協議会
広報編集特別委員会
- 19日（水） 広報編集特別委員会
- 21日（金） 全員協議会
上水道特別委員会
- 26日（水） 行政視察研修
- 28日（金）



9月定例会 のお知らせ

★会期の日程

- 9月 4日（月）
開会、議案の説明
- 9月 13日（水）
一般質問
- 9月 14日（木）
議案の審議

★場所

役場3階 議場

★時間

午前9時30分から



正覺寺の本堂

ふるやと再発見

表紙の写真は、神田町北一色の正覺寺の「豊徳太子像」です。本像は、正覺寺本堂向かって左側にある太子堂に安置されている木像で、太子廟の本尊です。昭和32年7月20日に町重蔵文化財に指定されました。高さ47センチ、重さ約45kgの一木彫です。寺伝によると、天台宗の開祖である最澄が日吉神社創建のために滞在中、朽ちた小舟の中で発見されたそうです。木田や節を巧みに使用し、年輪が法衣のひだの間に出ていて、見事な造形美をなしています。

令和5年5月27日、28日に33年に一度の御開帳が行われ、多くの方が拝観されました。